

価値創造プロセス

商売の原点
お客様喜ばせ業

企業理念
専門性と先進性で、
より豊かな生活を提案する進化し続ける“こだわり”の専門店の集合体

ビックカメラの競争優位の確保

強みを活かしたビジネスの展開

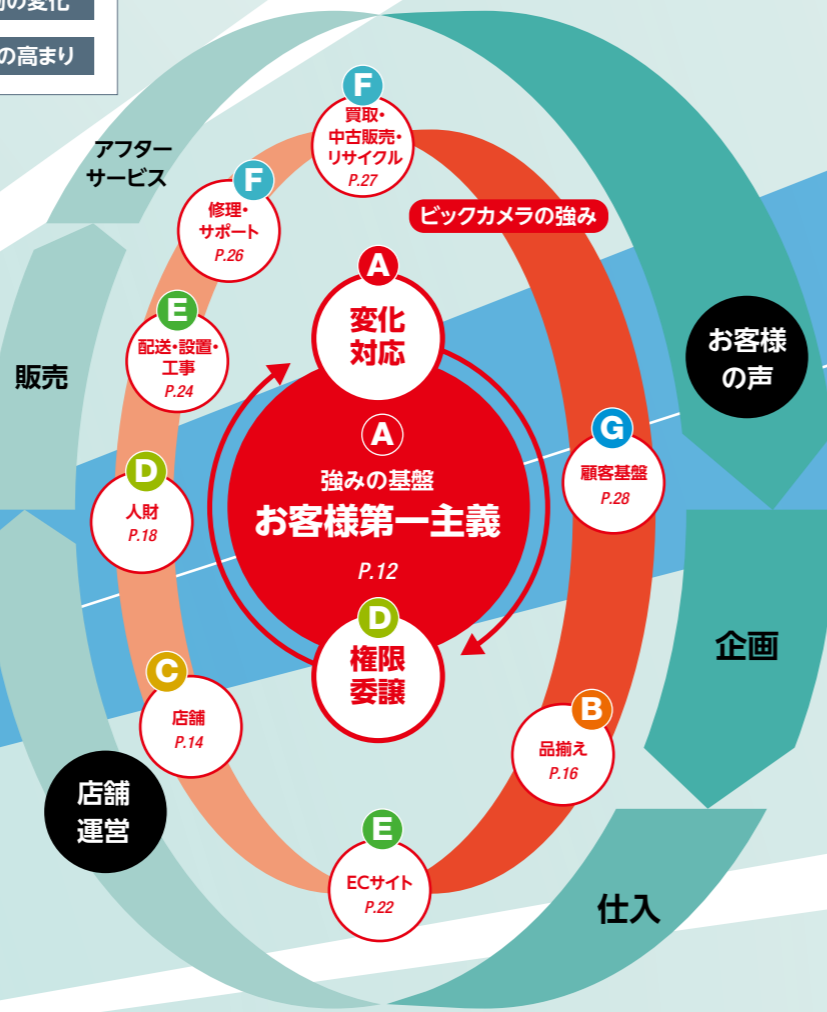
社会課題		
人口動態の変化	社会の成熟化	消費行動の変化
生活様式の変化	非連続な技術革新	環境意識の高まり

マテリアリティ

従業員
エンゲージメントの
向上

お客様
エンゲージメントの
向上

循環型社会
(サーキュラー
エコノミー)
への取り組み強化



経営戦略
従業員の ウェルビーイング 推進
生産性 向上戦略
成長戦略

成果
売上高 792,368 ^{百万円}
営業利益 17,863 ^{百万円}
経常利益 20,808 ^{百万円}
親会社株主に帰属する 当期純利益 5,765 ^{百万円}
1株当たり配当金 15 ^円
女性管理職比率 8.7%
エネルギー使用量 189,249 ^{千kWh}
CO ₂ 排出量 91,961 ^{t-CO₂}

ステークホルダーへの提供価値
<p>従業員</p> <p>従業員の物心両面の満足度向上に努めるとともに、働きたい場所・やりたい仕事につける機会と場を提供し、かつ自ら学ぶ意志のある従業員の成長をサポートします。</p>
<p>お客様</p> <p>お客様満足度を高められるよう、さらなるサービスレベルの向上に努めています。</p>
<p>お取引先</p> <p>メーカーをはじめとするお取引先の皆様と健全かつ公正な取引を守り、共存共栄を目指しています。</p>
<p>株主・投資家</p> <p>株主・投資家の皆様からの信頼と期待に応えられるよう、持続的成長を続け、企業価値向上を目指しています。</p>
<p>社会</p> <p>店舗を通じて地域社会と深く関わっており、地域社会とともに存在することでその役割を果たしています。</p>
<p>政府・行政機関</p> <p>政府・行政機関と適切な関係を保持して、企業行動憲章に準じて対応しています。</p>

投下資本 (2021年8月期)

人的資本 従業員 9,699人
社会・関係資本 お客様取引先
知的資本 目利き力・商品企画力
財務資本 純資産 179,523 ^{百万円}
製造資本 ビックカメラグループ合計 261 ^{店舗} EC化率 18.3% 物流センター 9 ^{カ所}
自然資本 資源回収ネットワーク

ビックカメラは「お客様喜ばせ業」を体現すべく、企業理念である「専門性と先進性で、より豊かな生活を提案する進化し続ける“こだわり”の専門店の集合体」を追求します。

創業より時代の変化やお客様のご要望に応えるべく進化させてきた
ビックカメラの強みにさらに磨きをかけ、
お客様に信頼され、あてにされる企業であり続けることで、
ステークホルダーの皆様へ価値を提供していきます。